

事業所名

YOUKIチャイルドアカデミー尾道

支援プログラム

作成日

2025年

1月

31日

法人（事業所）理念		はぐくまれるべき子ども達、高齢・障がいにより介護を必要とする方、自分らしく働くことのできる場所を探している方。そして、そんな方達を支えている家族や支えることを仕事にしている方。 そんなすべての人たちの、自己実現のさまたげになる問題を解決し続けていくことで、誰もが自分の意思で決めたことに挑戦できる地域社会をめざします。		
支援方針		1人1人が健やかに過ごしけるために、自分でできることは、自分で取り組めるように支援していく。 社会性を身につけ、地域との関わりを持てるようにする。		
営業時間		平日：10：00-19：00	土曜日祝日長期休暇：8：00-17：00	送迎実施の有無 あり なし
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	(1) 健康と生活リズムの維持 ① メールおよび連絡帳を通して必要に応じて、児の健康状態を確認する。 ② 医療的ケアが必要な児に対しては、日々の健康状態の確認と処置を行う。安全に利用できるように、保護者、学校、他事業所と連携を取る。 (2) 基本的な生活習慣の形成 ① はじまりの会やおわりの会を通して、一日の生活のリズムや生活習慣の形成を図る。 ② 基本的なADLを身につけられるようにそれぞれのお子さんのペースで取り組めるように支援する。 ③ 生活の中で、様々な遊びや活動を通して成長が促されるような環境を作る。		
	運動・感覚	(1) 運動・動作の経験 ① 日常生活に必要な全身を使った動作（歩く、走る、くぐる、またぐ、押す、引く、投げる等）を運動遊具を使いながら繰り返し経験できるように支援する。 ② 指先を使った細やかな動作の経験を積めるように支援する。（例：粘土、絵の具、描画、色水遊び等） ③ 外部講師を招き体の使い方、指先を使った細かな動作を行えるように支援する。（アートセラピー、ヨガ、あしつば） (2) 感覚の遊びの興味・関心 ① 遊びを通して視覚・聴覚・固有覚等を十分感じられるように支援する。（例：絵本、トランポリン等）		
	認知・行動	(1) 認知の特性についての理解や対応 ① 自ら気づくことや、できることが増え、自ら行動できるように支援する。 （例：はじまりの会等の繰り返しの活動、発達段階に合わせた提示の仕方の工夫等）		
	言語 コミュニケーション	(1) コミュニケーションへの意欲 ① 発達段階に合わせて表情やサイン、言葉を含めた豊かなコミュニケーションを育めるように支援する。（例：ごっこ遊び、表現遊び、ボール遊び等） ② コミュニケーション機器の活用 各種の文字・記号、絵カード、機器等のコミュニケーション手段を適切に選択、活用し、環境の理解と意思の伝達が円滑にできるよう支援する。		
	人間関係 社会性	(1) ①人と関わる心地よさの経験 発達段階に応じて他者と関わる楽しさを育めるように支援する。（自由遊び、ごっこ遊び、ボール遊び、ルールのあるゲーム遊び等） ②地域の人たちと関わりを持ち社会性を身につけれるよう支援する。（合同消防訓練・学童との合同での活動等）		
家族支援		お子さんの課題や成長を家族と共有し、寄り添いあえる関係を構築する。 （例：個別支援、家族面談、見学等）	移行支援	進路・進学（小学校・中学校・高校・就職）に関する相談支援及び移行支援会議に参加する。
地域支援・地域連携		相談支援事業所との連携 必要に応じて、医療機関等、お子さんが関係する機関との連携	職員の質の向上	外部の研修やOJT（虐待防止・事例検討・理学療法士や心理士、作業療法士、言語聴覚士、保育士等の専門職による相互研修）を計画立案し参加することで質の向上につなげる
主な行事等		近隣の散歩や外出を通して、自然に触れ合い、季節を感じる。 制作や遊びを通して、季節の行事に触れる。（こどもの日、梅雨、七夕、夏祭り、ハロウィン、クリスマス、正月、節分、ひな祭り等）		